

株主の皆様へ

第76期 中間報告書

平成22年6月1日から平成22年11月30日まで 証券コード：5967



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社グループはこのたび第76期第2四半期（平成22年6月1日から平成22年11月30日まで）決算を終了いたしましたので、ここに事業の概要をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした海外経済の回復に伴う輸出の増加や家計支援策による個人消費の拡大などを背景に、緩やかに回復しつつあるものの、円高の進行や欧米諸国における景気減速の影響に加えて、政策効果の縮小等により、先行きに不透明感は増しております。

このような経済状況のもと、当社グループは、「ボルト締結分野」での競争優位性を支える開発力・技術力・品質力の強化、「ボルト締結作業」に最適手段を提供できる技術サポート体制の強化に加え、各取引先への積極的な提案営業活動を展開し、売上高の伸長に努めるとともに、内外市場の販路開拓、コストダウンなどの創造的活動の展開をより強力に推進してまいりました。

しかしながら、外需の鈍化や内需の停滞など国内外市況は大変厳しく、作業工具類及び機器類の販売も需要回復は低調で、当第2四半期連結累計期間における売上高は作業工具類が9億7千1百万円、機器類が6億3千5百万円の計16億7百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

損益面につきましては、高採算品目の販売額が増加したことに加え、あらゆる諸経費削減等に鋭意努力した結果、営業利益は1億1千8百万円（前年同期は3百万円の営業損失）、経常利益は1億3



千6百万円（前年同期は1千9百万円の経常利益）となりました。

また、保有株式の価格下落による投資有価証券評価損7千2百万円等の計上を余儀なくされましたが、四半期純利益は4千3百万円（前年同期は3億6千8百万円の四半期純損失）となりました。

なお、中間配当金につきましては、将来の事業計画、業績、配当性向ならびに財務状況など総合的に勘案いたしまして、1株につき3円を実施させていただきました。

今後の見通しにつきましては、欧米や中国経済の減速、円相場の高止まりによる輸出の鈍化など回復局面には変調が表れ始め懸念材料が多くなると予想されます。

当社グループといたしましては、このような厳しい環境変化に耐え得る企業構造の確立を目指し、営業体制の改革、生産体制の強化、新製品開発の強化、財務体質の強化、及び人材育成に取り組んでまいりますとともに、売上確保、コスト削減に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年2月

取締役社長 佐藤憲史

通期 第2四半期累計

売上高



四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



当第2四半期連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期末 (平成22年11月30日現在)	前期末 (平成22年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	2,383,894	2,401,917
固定資産	2,126,804	1,921,444
有形固定資産	1,026,864	595,039
無形固定資産	34,100	34,599
投資その他の資産	1,065,838	1,291,805
資産の部合計	4,510,698	4,323,361
負債の部		
流動負債	2,099,302	2,240,831
固定負債	978,405	603,465
負債の部合計	3,077,708	2,844,296
純資産の部		
株主資本	1,523,992	1,529,123
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	163,380	163,380
利益剰余金	1,263,451	1,268,431
自己株式	△507,839	△507,688
評価・換算差額等	△91,002	△50,058
その他有価証券評価差額金	△91,002	△50,058
純資産の部合計	1,432,990	1,479,064
負債及び純資産の部合計	4,510,698	4,323,361

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 [平成22年6月1日から 平成22年11月30日まで]	前第2四半期連結累計期間 [平成21年6月1日から 平成21年11月30日まで]
売上高	1,607,127	1,452,539
売上原価	984,826	933,091
売上総利益	622,300	519,447
販売費及び一般管理費	504,066	522,549
営業利益又は営業損失(△)	118,234	△3,101
営業外収益	28,520	44,975
営業外費用	10,599	22,227
経常利益	136,155	19,646
特別損失	90,631	341,092
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	45,523	△321,446
法人税、住民税及び事業税	1,568	2,149
法人税等調整額	-	44,813
少数株主損益調整前四半期純利益	43,954	-
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43,954	△368,409

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 [平成22年6月1日から 平成22年11月30日まで]	前第2四半期連結累計期間 [平成21年6月1日から 平成21年11月30日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,586	311,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△338,210	34,441
財務活動によるキャッシュ・フロー	222,075	△438,907
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,548	△92,869
現金及び現金同等物の期首残高	230,373	311,267
現金及び現金同等物の四半期末残高	217,824	218,398

会社の概要 (平成22年11月30日現在)

商号	前田金属工業株式会社 Maeda Metal Industries,Ltd.
創業	大正14年1月
創立	昭和13年8月6日
組織変更	昭和24年7月27日
資本金	605,000,000円
従業員数	143名(連結)

役員

取締役社長	佐藤 憲 史
常務取締役	松村 昌 造
取締役	矢野 大司郎
常勤監査役	池田 澄 朗
社外監査役	山上 和 則
社外監査役	滝川 雄 吉

ホームページのご紹介



当社ホームページでは、新製品・展示会などの情報を掲載しています。是非ご覧頂き、皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

<http://www.tonetool.co.jp/>

事業所

本社工場 〒 537-0001 大阪市東成区深江北三丁目14番3号
TEL (06) 6976-5561

富田林工場 〒 584-0023 富田林市若松町東三丁目3番6号
TEL (0721) 25-9605

開発センター 〒 536-0021 大阪市城東区諏訪四丁目7番16号
TEL (06) 6965-3881

国内営業部

札幌営業所 〒 007-0840 札幌市東区北40条東十九丁目2番12号
TEL (011) 782-4544

仙台営業所 〒 984-0037 仙台市若林区蒲町字原田南32番1号
TEL (022) 282-2161

新潟営業所 〒 955-0056 三条市嘉坪川一丁目2番29号
TEL (0256) 36-6875

東京営業所 〒 150-0013 東京都渋谷区恵比寿二丁目27番24号
TEL (03) 3446-3911

名古屋営業所 〒 464-0850 名古屋市中千種区今池二丁目2番36号
TEL (052) 741-0043

大阪営業所 〒 537-0001 大阪市東成区深江北三丁目14番3号
TEL (06) 6973-9737

広島営業所 〒 731-0111 広島市安佐南区東野一丁目18番21号
TEL (082) 832-3171

福岡営業所 〒 812-0893 福岡市博多区那珂三丁目27番17号
TEL (092) 411-7125

海外部 〒 537-0001 大阪市東成区深江北三丁目14番3号
TEL (06) 6976-5567

事業紹介

作業工具類

当社は創立以来、プロ用作業工具メーカーとして全てのボルト締結に最適な手段の提供を目指し、様々な製品を提供してまいりました。中でもソケットレンチは当社の主力製品として国内のみならず、世界中でご使用頂いており、これまで多くの信頼と実績を積み重ねております。また多様化・高度化するニーズに応えるために、トルクレンチなど締付力管理工具の開発、チタン・ステンレスなどの新たな金属素材の採用、工具セットのラインナップの充実などに努めてまいりました。TONEの工具は現状に満足することなく、常に「進化」を続けております。

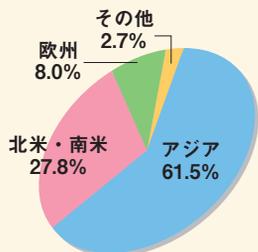


機器類

創立以来積み重ねてきました締結に関する技術は、世界トップシェアを誇るシヤーレンチを筆頭に、様々な締付力管理機器やボルト締結機器に活かされております。より高精度な締付け力の管理、作業者の負担軽減、作業効率の飛躍的な向上を実現するとともに、安全・安心・確実な締付け作業を提供してまいりました。これからも「ボルト締結」に関する課題解決を通じて、高性能・高品質、そして革新的な機器製品開発を進めてまいります。



海外展開



ア ジ ア … 中国・韓国・台湾
タイ・シンガポール・インドネシア
北 米・南 米 … アメリカ・カナダ・チリ・ペルー
欧 州 … イギリス・フランス
そ の 他 … インド・中近東

TONEの製品は世界中のプロフェッショナルにご愛用いただいております。今後も「ボルトインテグレーション・ソリューション」の精神に基づき、多様な顧客要望を採り入れた製品の提供に努め、TONEブランドが世界の高級工具・機器の代名詞となることを目指して、積極的な海外展開を図ってまいります。

トピックス



展示会出展 「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW2010」に出展

「わたしに新しい！すまいに、いいもの。いい暮らし。」をテーマとした日本最大のDIYショーが、2010年8月26日から28日までの3日間、幕張メッセで開催されました。

当社のブースでは、実際に製品を手にとって性能を確かめられる体験スペースを用意し、大きな反響を得ました。



展示会出展 「JIMTOF2010 第25回日本国際工作機械見本市」に出展

「モノづくり 未来を創る 夢づくり」の統一テーマのもと、JIMTOF2010が2010年10月28日から11月2日までの6日間、東京ビッグサイトで開催されました。

当社のブースでは、新製品の電動トルクレンチ「NCトルコン」を展示し実演を行いました。高精度な締付け作業を実感して頂き、好評を博しました。



新製品紹介 電動トルクレンチ「NCトルコン」

無線通信によるフィードバック制御機能を搭載した世界初の電動トルクレンチ「NCトルコン」を開発しました。
(NC= Numerical Control : 数値制御の略)

この「NCトルコン」は、従来からの基本技術をさらに進化させ、作業や作業環境に左右されず、より簡単な操作で、より高精度で均質な作業を実現しました。



株式メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月
基準日	定時株主総会の議決権 5月31日 期末配当 5月31日 中間配当 11月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問合せ先 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8583大阪市中央区北浜二丁目4番6号 TEL 0120-255-100 (通話料無料) ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告方法	電子公告 http://www.tonetool.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	大阪証券取引所 市場第二部
証券コード	5967

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いたします。

TONE® 前田金属工業株式会社

〒537-0001 大阪市東成区深江北三丁目14番3号

この報告書に関するお問合せは下記までお願いします。
管理部 TEL.06-6973-9744
<http://www.tonetool.co.jp/>